

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中講義	2年	2単位	選択
担当教員			
吉田 美恵子・戸田 恵理子			
講義概要	<p>「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や内容理解をもとに、さらに保育所保育士養成に必要な知識や知恵や指導技術を身につける</p> <p>①保育所・認定こども園の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める</p> <p>②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める</p> <p>③既習の強化や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について統合的に学ぶ</p> <p>④保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み理解を深める</p> <p>⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解し、保育士としての自己課題を明確化する</p>		
授業計画	1		
授業形態	<p>実践実習（保育所） 1日8時間以上×10日間</p> <p>1. 保育全般に参加し、保育技術を習得する</p> <p>2. 子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について具体的に学ぶ</p> <p>3. 指導計画を立案し実践する</p> <p>4. 子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する</p> <p>5. 地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ</p> <p>6. 子どもの最善の利益への配慮を学ぶ</p> <p>7. 保育士としての職業倫理を理解する</p> <p>8. 保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて自己の課題を明確化する</p>		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本学保育学科（保育士養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを統合的に実践する応用能力を養うため、子どもに対する理解を通じて保育の理念と実践の関係について習熟させることを目的とする。</p>		
教科書・参考書			
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	実習巡回中及び会議等以外は対応可能		
備考・メッセージ			